

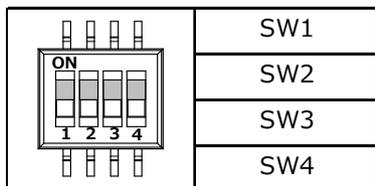
ディップスイッチの設定(Ver.2.0)

保護用のシールをはがしてから、スイッチを操作してください

コンバージョン回路が、プラズマモーターに対応しました。

使用電圧範囲を、細かく設定できるようになり、より効果的な制御が可能となりました。

使用に当たっては、標準設定を大きく外れて設定して、モーターを回転させると故障の原因となりますのでご注意ください。



ディップスイッチは、先の細いものでゆっくりと操作してください

Mode_1	Mode_2	Mode_3	Mode_4	Mode_5	Mode_6	Mode_7	Mode_8
Mode_9	Mode_10	Mode_11	Mode_12	Mode_13	Mode_14	Mode_15	Mode_16

☆使用モーターとディップスイッチの設定

※ノーマルモーターはtune/dush用の設定でご使用ください。

使用モーター	使用電圧 (V) ~ ノーマルモード ~							
	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	15.5	16.0
Tune/dush	Mode_1	Mode_2	Mode_3	Mode_4	Mode_5	Mode_6	Mode_7	Mode_8
Plasma_Dush	Mode_9	Mode_10	Mode_11	Mode_12	Mode_13	Mode_14	Mode_15	Mode_16

☆使用可能モーターとディップスイッチの設定(オーバーレブ機能)

使用電圧に対し、指定モードを1段小さくする設定する事で、モーターお最高回転数を上げることが可能です。
 ※ノーマルモーターはtune/dush用の設定でご使用ください。

使用モーター	使用電圧 (V) ~ オーバーレブモード ~							
	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	15.5	16.0
Tune/dush	設定なし	Mode_1	Mode_2	Mode_3	Mode_4	Mode_5	Mode_6	Mode_7
Plasma_Dush	設定なし	Mode_9	Mode_10	Mode_11	Mode_12	Mode_13	Mode_14	Mode_15

(例) 実際の使用電圧が14.5Vで、使用モータが『tune/dushモータ』の時、ノーマルの設定はMode_5ですが、Mode_4の設定で使用すると、約5%程度無負荷回転数を上げることができます。

☆モーターの慣らし運転

モーターの性能を発揮させるためには、本番使用前の慣らし運転が効果的です。実際の使用電圧よりも高い設定電圧のモードを選択すると、最高回転数が抑える事ができますので、モーターの慣らし運転が可能です。